

## ユビキタス発電研究会へようこそ

### はじめに

ユビキタス発電研究会(以下、本研究会)は、「身の回りに遍在する微小なエネルギー(環境発電・EH)」を起点に、未来の技術・社会・文明のあり方を、実験と対話を通じて探究する場です。

専門家だけでなく、

- ・ 電子工作が初めての方
- ・ 理論よりも「触って考えたい」方
- ・ 未来文明やエネルギーの話にワクワクする方も歓迎しています。

### この研究会が大切にしている考え方

私たちは次のような問いを共有しています。

- ・ なぜ現代文明は「巨大なエネルギー」に依存しているのか
- ・ 本当に必要なエネルギー量とはどれくらいなのか
- ・ 小さなエネルギーでも“意味のある仕事”はできないか

ここで扱う\*\*環境発電(Energy Harvesting / EH)\*\*とは、太陽光、振動、温度差、磁気、電場など、これまで「捨てられてきたエネルギー」を拾い上げる技術です。

本研究会では単なる電子工作や回路技術だけでなく、\*\*その先にある「文明のかたち」\*\*まで視野に入れています。

- ・ 大量生産・大量消費の文明
- ・ 集中型エネルギーの文明
- ・ 常に成長を前提とする文明

とは異なる、小さく、分散し、共鳴しながら成り立つ文明  
それを私たちは

**\*\*「ユビキタスエネルギー文明」\*\***と呼んでいます。

## ここでやっていること(具体例)

難しく聞こえるかもしれませんが、実際の活動はとても素朴です。

- ・ 小さなソーラーパネルでセンサーを動かす
- ・ コイルや磁石を使って微弱な発電を試す
- ・ コンデンサに溜まったエネルギーで一瞬だけ動作させる
- ・ なぜ動いたのか、なぜ動かないのかを皆で考える

「うまくいかない実験」も大切な研究成果です。

## ビギナーの方へ

この研究会では、

- ・ 知識量
- ・ 経験年数
- ・ 肩書き

は重要ではありません。

大切なのは

「なぜだろう？」と考える姿勢と

実際に手を動かしてみる好奇心です。

質問はいつでも歓迎です。

「こんなこと聞いていいのかな？」と思う疑問ほど、

実は核心に近いことが多いのです。

## 最後に

ユビキタス発電研究会は、

**正解を教える場ではなく、一緒に考え、試し、発見する場です。**